

災害時用特設公衆電話の使用方法

【導入意図】災害発生時に通常の固定電話より優先的に電話がつながりやすいことから、避難者の安否確認等の有用な手段として導入
第 1 版



作 成 者	防災課災害対策係
-------	----------

目次

災害時用特設公衆電話の使用方法	1
目次	2
0.災害時用特設公衆電話とは	3
1.使用する資機材	3
1.特設公衆電話端子盤	3
2.電話機	3
2.資機材の使用方法	4
1.災害時特設公衆電話端子盤	4
2.電話機	4
3.使用開始する前に... ..	5
4.使用終了後	6
5.災害用伝言ダイヤル(171)の使用方法について	7
1.伝言を録音する場合	7
2.伝言を再生する場合	8

0.災害時用特設公衆電話とは



災害時用特設公衆電話は、災害時に通信制限を受けづらい回線となります。

架電はもとより、災害用伝言ダイヤル「171」を使用した安否確認等の手段として、各小中学校や区関係施設に設置しています。

1.使用する資機材

1.特設公衆電話端子盤



昇降口付近に「特設公衆電話端子盤」と表示された端子盤があります。

※位置については、学校図面を参照してください。端子盤を開けると、コードとモジュージャックが入っており、5回線分の差込口があります。

端子盤を開ける鍵は無線機格納箱と同じ鍵となっております。

※学校によっては、コードとモジュージャック等が電話機のボックス内に入っている場合があります。

2.電話機



電話機本体は災害応急物資格納庫格納庫内にあるケースの中に5台あります。こちらを繋いで使用することになります。5回線のうち1回線は国際通話も可能となっています。

※学校によっては、コードとモジュージャック等が災害時特設公衆電話端子盤内に入っている場合があります。



2. 資機材の使用方法

1. 災害時特設公衆電話端子盤

	<p>学校図面を参照し、災害時特設公衆電話端子盤の位置を、確認します。</p>
	<p>無線機格納箱と同じ鍵を使用して端子盤を開けます。鍵には N200 と刻印されています。</p>
	<p>端子盤を開けて、モジュージャックにケーブルが接続されている(赤枠)ことを確認します。</p>

2. 電話機

	<p>災害応急物資格納庫から、受話器が入っているケースを取り出します。 ケース側面には、NTT 東日本と記載されたシールが貼付されております。</p>
---	---

	<p>電話器を5台並べます。この際、長机を事前に用意しておく便利です。</p>
	<p>電話機うち1台は、国際電話の利用が可能です。該当の受話器には、「国際電話利用可」とシールが貼付されています。モジュラージャックにも「国際」とシールが貼付されている箇所に受話器のケーブルを差し込んでください。</p>
	<p>残り4台も同様に、受話器からのケーブルをモジュラージャックに差し込んでください。受話器を上げ、「ツー」と音がしたら、接続ができています。</p>

3.使用開始する前に…

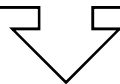
発信音(「ツー」と音がします)を確認後【03-6433-9764】にダイヤルし、次の内容を録音して下さい。

①市区町村名②避難所名称③連絡者名④連絡先

運用を開始してください。

4.使用終了後

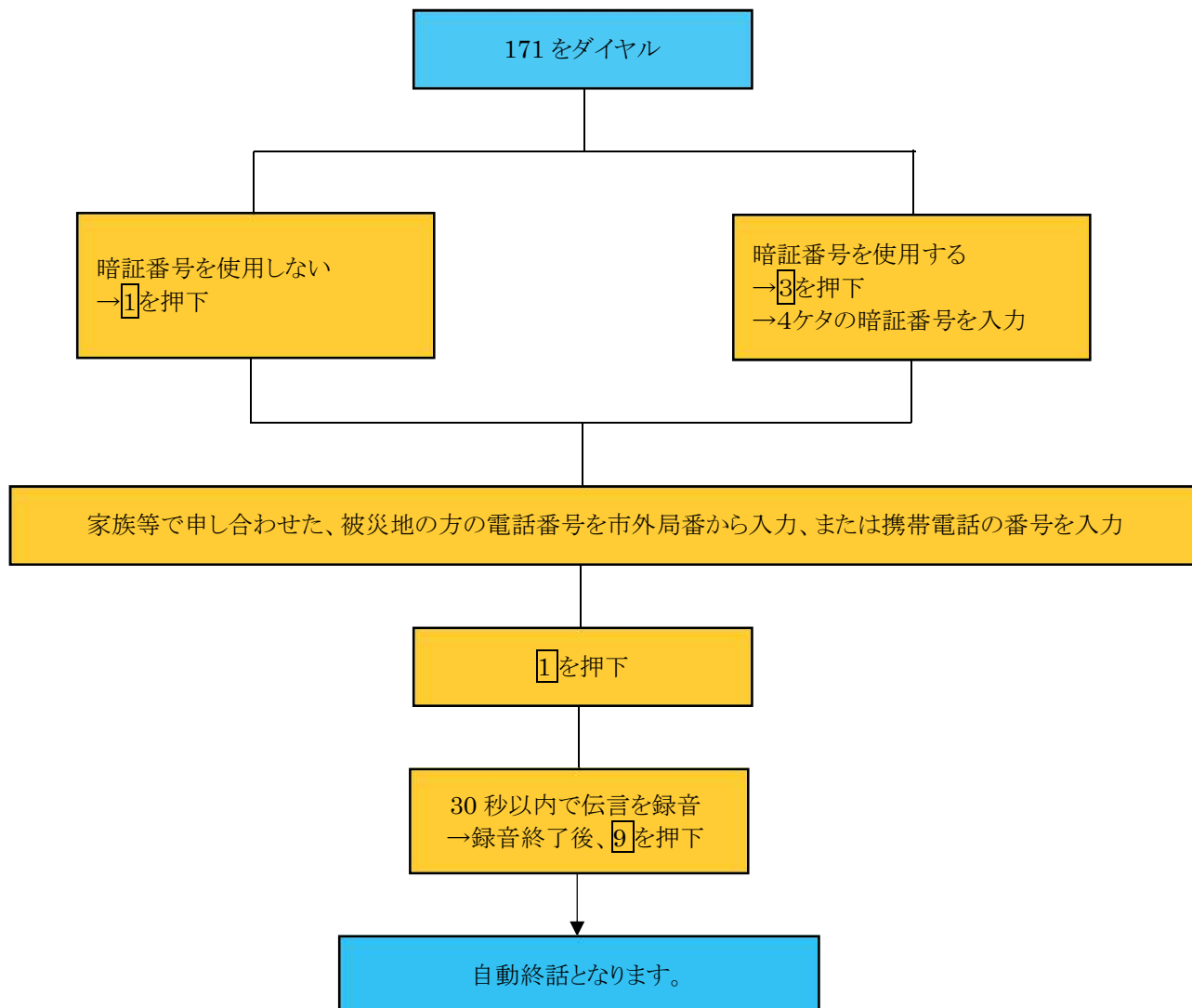
発信音(「ツー」と音がします)を確認後【03-6433-9764】にダイヤルし、次の内容を録音して下さい。
①市区町村名②避難所名称③撤収予定時刻



ケーブルを外して電話機等を片付けるほか撤収作業を開始してください。

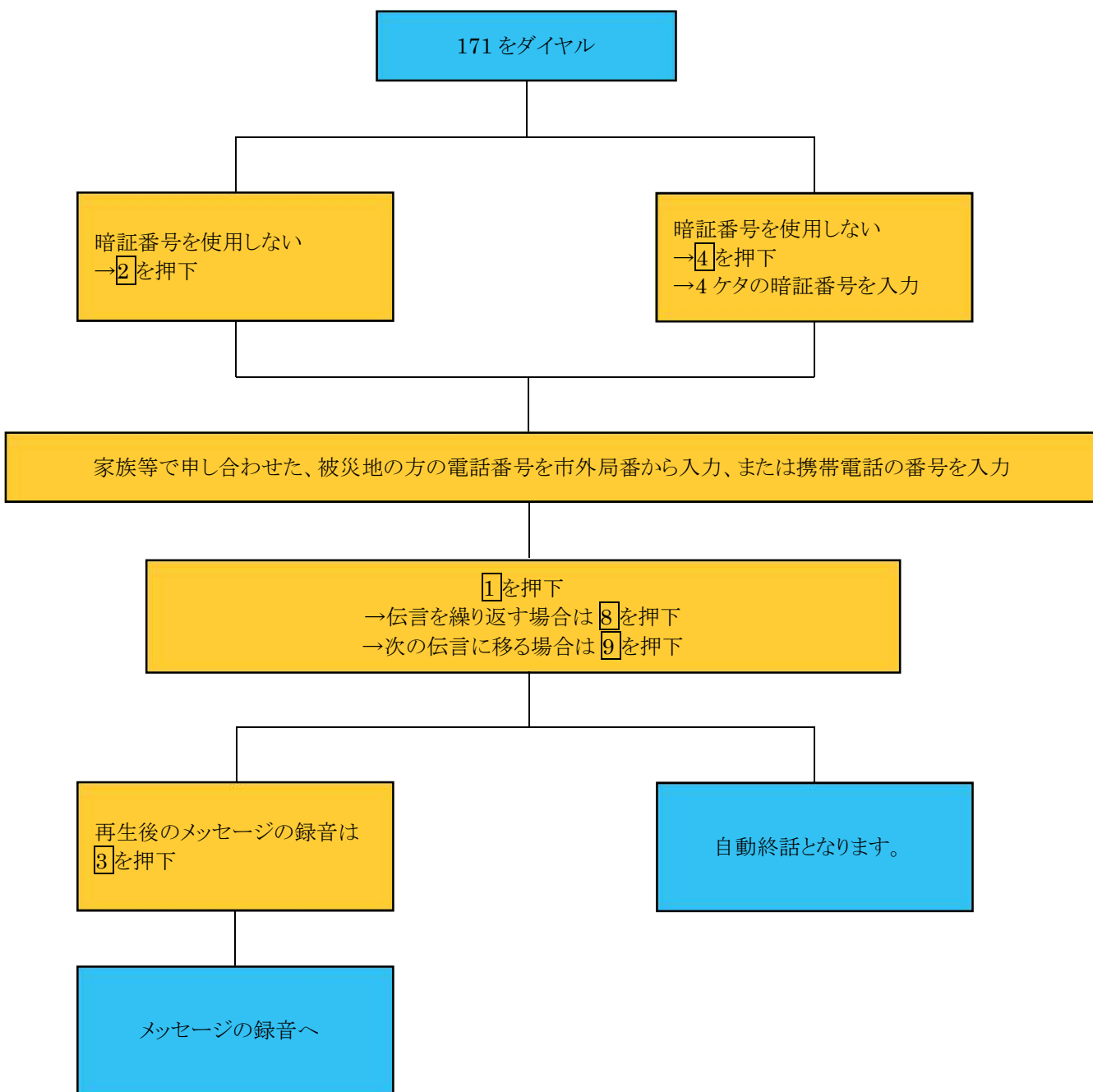
5.災害用伝言ダイヤル（171）の使用方法について

1.伝言を録音する場合



※災害時特設公衆電話の受話器を使用した場合となります。

2.伝言を再生する場合



※災害時特設公衆電話の受話器を使用した場合となります。